

# B-jin セミナー 研究リテラシー

研究や外部機関との連携活動では、法令等や学内規程に基づくリスクマネジメント（秘密情報管理・利益相反・輸出管理・遺伝資源管理等）が必要なケースがあります。本セミナーでは、大学院生・ポスドクの皆様が知らずに法令違反等を犯してトラブルに巻き込まれないよう、研究リテラシーにまつわる法令(条約)や学内ルール、事例等をご紹介します。オンデマンド教材ですので、申し込み後はご都合のよい時間に視聴してください。

➤ **対象**：名古屋大学所属の  
博士（前期・後期）課程学生、ポスドク

<b>① 概論</b>	<b>① 秘密情報管理</b>
研究活動でのリスクマネジメントの必要性、大学で生じ得る複合的リスクへの対応が必要な事例等、リスクマネジメントの全体像をご紹介します。	秘密情報漏洩は、場合により不競法違反となります。本セミナーでは、共同研究での秘密管理や学生等の共同研究参画時の注意点を紹介します。
講師：宮林 毅 (MIYABAYASHI Takeshi) 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 学術・連携リスクマネジメント部門	

<b>② 利益相反マネジメント</b>	<b>③ 安全保障輸出管理</b>
近時、学生発ベンチャー等を設立する方も増加していますが、ベンチャー活動では、利益相反への配慮が必要です。本セミナーでは、ベンチャー設立や兼業、共同研究実施の際の利益相反への配慮が必要な事例をご紹介します。	海外への実験機器や試料などの持出し、海外研究者との研究の打合せ等では、外為法に基づき安全保障輸出管理の確認が必要です。本セミナーでは、外為法の規制内容や大学で発生する輸出管理対象行為をご紹介します。
講師：石川 綾子 (ISHIKAWA Ayako) 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 学術・連携リスクマネジメント部門	

<b>④ 遺伝資源管理</b>
海外から生物由来研究試料などの遺伝資源にアクセスする際には、提供国の法令等を遵守し、生物の多様性に関する条約と名古屋議定書に基づく手続きが必要となります。本セミナーでは、海外遺伝資源へのアクセスを行う際に、研究者が知っておくべきABSの考え方や手続きについて説明します。
講師：渡邊 真由美 (WATANABE Mayumi) 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 遺伝資源実務者チーム

視聴期間

10/1(金)  
~11/30(火)

受付締切  
10/31(日)



## ◆ 申込から動画視聴までの流れ ◆

- Step1** ホームページの申込フォームから視聴申し込みをする。締切 10月31日  
 ↓ [https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/information/bsemi2021\\_10/ >>>](https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/information/bsemi2021_10/)
- Step2** 申込完了の自動返信メールが、Step1の申込フォームで登録したメールアドレスに届く。
- ✉ 送信元：名古屋大学 博士機構キャリア教育室 <wordpress@dec.nagoya-u.ac.jp>  
 件名：[自動返信メール] 2021年度第10回B人セミナー 事前登録
- ※キャリア教育室で申し込み時の [名大ID] をNUCTの講義サイトに登録します。登録が完了すると、NUCTへのアクセスが可能になります。（参加登録に数日かかる場合があります。）
- Step3** NUCTにアクセスし、動画を視聴する。11月30日まで視聴可能。



NUCT (<https://ct.nagoya-u.ac.jp/portal>) に、名大ID・パスワードでログイン  
 「B人セミナー【研究リテラシー】」のサイトにアクセスしリソースから動画を視聴してください。